

リーディングDXスクール事業【実践事例】

上板町内小中学校（指定校・協力校）

【取組内容⑤】 外部講師によるジュニアICTリーダーの育成



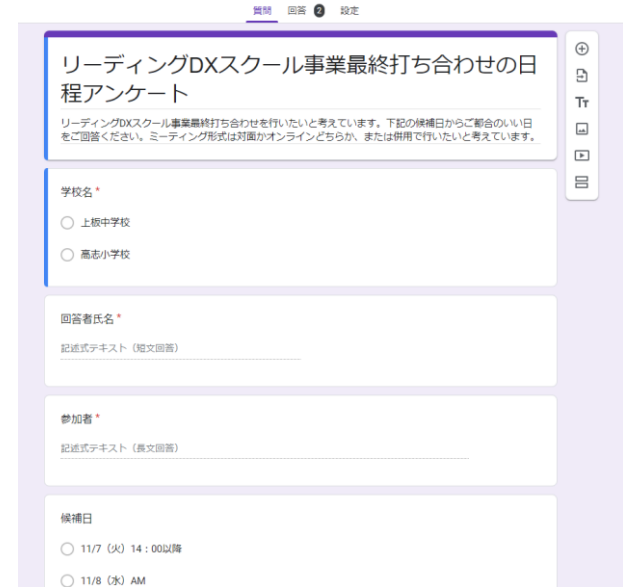
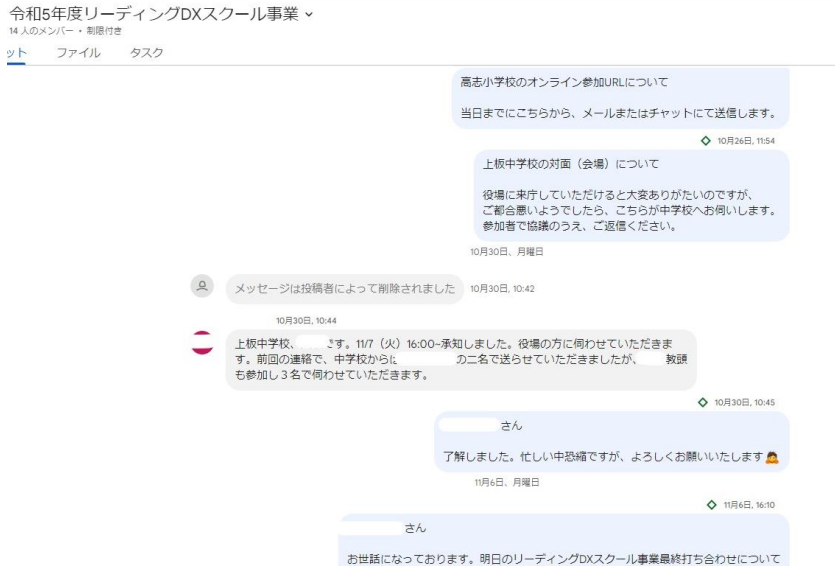
Google for Educationの外部講師をお招きし、ジュニアICTリーダー研修を行いました。一定のスキルを身につけた生徒は各学校のICTを牽引する担い手となり、さらなる発展を上板町と目指していきます。

上板町ジュニアICTリーダーに任命された生徒とは教育委員会の担当者と連絡がとれるようチャットルームを開設しました。生徒達が自分で考える力を身につけ、他者と共有する力をつけるため、日常でのICT環境で思ったことやアイデアを伝える場として活用しています。

【取組内容④】 本事業の打ち合わせ会議をクラウド環境を利用することで効率化

本事業に係る会議の打ち合わせや情報共有等はチャット・GoogleMeet等を活用。時間や場所にとらわれないコミュニケーションを実現し、円滑な運営が行えます。

クラウド環境を利用し、やりとりをデジタル化することで、事務作業の効率化とペーパーレス化を図ることができます。



紙の資料や書類の作成・管理・保管は、教職員にとって大きな負担です。クラウド環境を活用することで、業務の効率化や負担軽減に繋がります。

【取組内容⑤】 外部講師を招いた授業をYouTubeで限定公開することで地域内外に普及

デザイン思考の講義を有識者から指定校に行い、多様な視点から物事を考える力を育みます。その授業を視聴希望者に対してYouTubeで限定公開し、他の教育機関等へ普及しました。

有識者による講義



指定校

協力校

その他教育機関

配信風景



授業風景



リーディングDXスクール事業【実践事例】

上板町立高志小学校

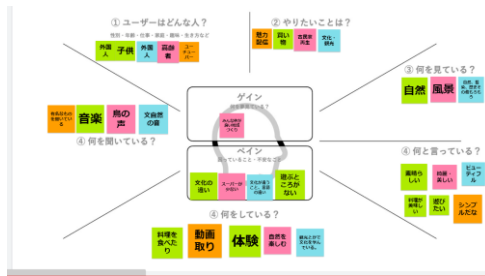
【取組内容①】 外部講師から学んだ事をスライド等のツールやクラウド環境を使用し、テーマに沿って協働学習

外部講師から学んだことをアウトプットするため、発表会を計画しました。発表に向けた資料作成をスライド等のツールを使いながら作成、またグループワークを行うことで「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的充実に取り組みました。一人一人の生徒が自分の考えを発信し、他者の意見も尊重する。異なる意見が組み合わさることで、よりよい内容を追求できました。下記は発表までに生徒が行った内容です。

発表テーマ

「10年後、上板町が住みたい町No.1になるためには」

①GoogleJamboardを活用したアイデア共有



③イメージをキーワード化し、生成AI画像ツールにて、画像を生成



②Googleスライドを活用し、アイデア共有に基づいた発表資料の作成

ターゲット：藍染で仕事をしたい人（上板藍）

藍染でお仕事したい

これが上板藍です!!

自分たちで描いてみた絵

だけど

藍染について詳しく教えてくれる場所がありません

上板町に藍染の大学を作る。



画像を活用することで、発表者のイメージを見学者により具体的に伝える事が可能です。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

上板町立高志小学校 上板町立上板中学校

【取組内容①】 協働学習でまとめた内容をグループ選抜し発表。発表を行わない生徒及び教員はツールを使って感想・意見交換

発表会ではクラウド上で質問を書き込むことのできるツールを活用し、発表するグループへの感想や質問等を収集し、リアルタイムで共有しました。外部からの見学者（徳島県内教育関係者限定）にも自身の端末で参加していただくことで、会場全体の意思疎通を図りました。

発表テーマ：藍を学ぼう



発表テーマ：未来を形にニンビル



クラウド上で質問を書き込むことのできるツール



下記HPから公開授業及び発表会の一部を視聴できます。

上板町リーディングDXスクール事業
<https://www.kamiita.ed.jp/rdx>

